



# 第36回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和4年9月24日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会  
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室  
地域医療支援センター  
シミュレーションセンター  
救命救急センター

## 第 36 回 I C L S コー ス

### コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

### ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

### 実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医であった。

スタッフ(サブディレクター1名、インストラクター4名、アシスタントインストラクター2名)計7名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

# 各ブースにおける感染予防対策

## 1. BLSブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
  - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
  - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
  - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

#### (1) マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面

#### (2) BVM

#### (3) AED

### 4) その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



## 2. 気道管理ブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
  - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
  - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
  - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計

### 4) その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。



## 3. モニターブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
  - ・シナリオ開始時
  - ・シナリオ終了時、着座前

## 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



## 4. シナリオブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



### 3) 備品消毒箇所

#### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

#### (2) BVM

#### (3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

#### (4) 輸液・薬剤

#### (5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



# タイムテーブル



## 〈実施内容〉

開催日時	令和4年9月24日（土） 9：20～17：00
受講者数	6名
対象	初期研修医（4名） 看護師（2名）
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

## 〈スケジュール〉

		グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション シミュレーション室1	
09:30～10:10	40分	BLS+AED シミュレーション室2	
10:10～10:20	10分	休憩・移動	
10:20～11:10	50分	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:10～11:20	10分	休憩	
11:20～12:10	50分	モニター シミュレーション室2	気道管理 シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼食（指導者：シミュ2、受講者：シミュ1）	
13:00～13:10	10分	BLS・ALSデモンストレーション	
13:10～14:20	80分	チーム蘇生VF/VT シミュレーション室2	
14:20～14:30	10分	休憩	
14:30～15:20	50分	non VF/VT シミュレーション室2	
15:20～15:30	10分	休憩	
15:30～16:40	70分	Megaコード シミュレーション室2	
16:40～16:50	10分	休憩	
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式 シミュレーション室2	

午前：気道管理

インストラクター：	★百木 中尾
アシスタント：	武

午前：モニター

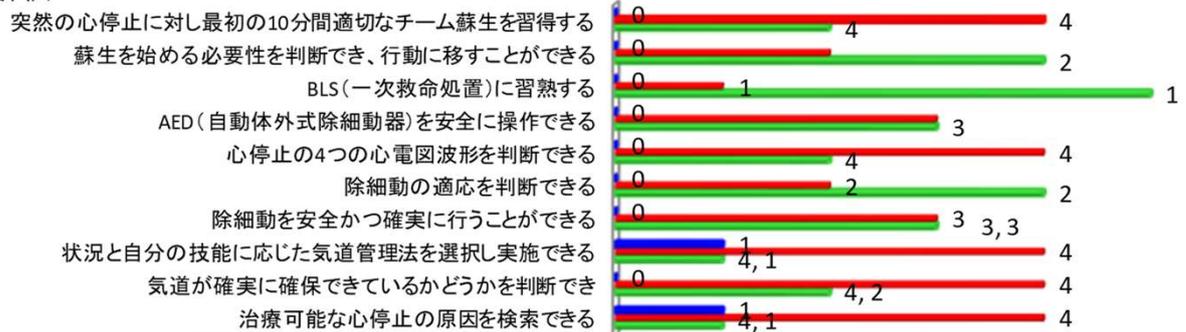
インストラクター：	★石本 横山
アシスタント：	中山

## ◆アンケート◆ 受講生の声

### 1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価

■ 充分 ■ 普通 ■ 不十分



### 2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどうか変わりましたか？

- 除細動の適応やアドレナリン投与のタイミングが学べた。
- ある程度対応が身についた。
- 以前と比べると急変時の対応で動きやすくなったと思う。
- 蘇生のために必要な流れに乗れるようになりました。
- 急変時の対応への苦手意識が少しなくなった。
- BLSのアルゴリズムに則った蘇生を行えるようになった。

### 3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間



指導内容(量)



講習内容に対する  
時間設定



### 4)インストラクターに一言

- 丁寧なご指導ありがとうございます。(2)
- 出来なかったことだけでなく、出来たことも評価していただいたので、蘇生に関する知識や動き方を知るだけでなく、自信もついた。
- お休み中、コロナ下にも関わらず準備から指導まで本当にありがとうございました。
- たくさん勉強させていただきました。ありがとうございました。
- 振り返りの指摘が分かりやすかったです。ありがとうございました。

### 5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- CPRをするので少し室温を下げただけだと幸いです。
- 良かったです(2)
- 特になし(3)

### 6)参加費は・・・



### 7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 記載なし

### 8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

- 高山 諒

## ◆アンケート◆ スタッフの声



### 【受講生について】

#### 1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 意欲的 反応よし (3)
- 元気でよかった。
- 真面目に真剣に取り組んでいました。
- 良かった (2)

#### 2) 予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 学習はまずまずされていた。(3)
- 波形の判別がもう少しできればと思いました。
- 薬剂量など少し足りないところもあった。
- 予習不足と思います。
- 予備知識は少ない気がした。

#### 3) 到達項目について、到達できたと思いますか？



#### その他の意見

- なし

### 【インストラクターについて】

#### 4) 自身はどうでしたか？

- 前回よりもうまく説明できた。
- もっと勉強する必要がある。
- 検査の数値や院内のルールを知る必要があるといつも思います。
- ある程度落ち着いて指導でした。
- 喋りすぎました。
- 残り時間を考えて、簡潔にフィードバックできるようにしたい。

#### 5) 同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 問題なかった
- いろいろと教えてもらえた
- みなさんインストラクションがうまかった
- 素晴らしかったです。
- 良かったです (2)
- わかりやすく、具体的に、なぜそれが必要なのかを指導されており、受講生に合わせた指導をされているのが印象的だった。指導者によってパルスチェックとリズムチェックの考え方が違う場面などがあり、受講生が戸惑ったいたため、統一した指導が必要と感じた。

## 6) アシスタント、チューターはどうでしたか？

- 問題なかった。
- 良かったです。(2)
- よく自己学習をされて望まれていた。
- しっかり、サポート頂きました。

## 7) 到達項目を十分教えることが出来ましたか？



## 8) 講習会全体について

講習時間



指導内容(量)



## 9) 運営者について

### 1. 当日の運営はどうでしたか？

- 問題なし。(3)
- いつも、完璧です。

### 2. 当日までの準備はどうでしたか？

- 問題なし。(2)
- 良かったと思います。
- 漏れなく準備いただいていた。

## 10) 今後のこの会についてひとこと

- 続けていきたい。
- 引き続き、お願い致します。(2)



# フォトギャラリー

